

えとこだより



ここにあるすべてを、
かけがえのない「宝もん」へ。

「阿賀野川の支流・実(さね)川の、紅葉に彩られた溪谷」場所:実川溪谷(阿賀町豊実)

もくじ

インフォメーション	8
特集3 令和元年度パネル巡回展 ・明治・大正・昭和の日本、近代産業をめぐる光と影 &事前オアシスツアー「三川鉱山・草倉銅山めぐり」	6
特集2 阿賀野川エコミュージアムを 目指す流域再生フォーラム(第9回)	4
特集1 阿賀流域再発見連続ツアー講座2019レポート ・「第2回」水びたしの大地との関わり	2

阿賀上流域と下流域のつながりの「学び直し」を目指して

下流域の水との関わり、上流域の近代産業から、阿賀流域の光と影を学ぶ

このたびは、令和元年台風第19号に伴う災害により、阿賀野川上流域などで被害を受けられました皆様へ、心よりお見舞いを申し上げます。被災された地域の一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

今年度3回にわたって展開された「阿賀流域再発見・連続ツアー」講座でも、下流域の平野部における「水との関わり」の壮絶な歴史を、様々な現場を巡って関係者の方々のお話を聞く中から学びました。今後も関係者の方々のご尽力により、環境の整備が図られていくものと思われれます。

このように、阿賀下流域の水の行方を学び直せば直すほど、その水源たる上流の山々へも自然と想像が広がります。かつては鉱山や化学工場など様々な近代産業が隆盛した土地でもあり、その光と影も含めて関心をお持ちの方は、今号お知らせする流域再生フォーラムの事前オプショナルツアーとして催行する「三川鉱山・草倉銅山めぐり」にお申し込みいただければ幸いです。

環境と人間のふれあい館主催イベント 水俣病講演会

イベント

ユージン・スミス **入場無料・事前申込不要**
水俣に捧げた写真家の1100日

水俣病を世界に伝えた米国人写真家の故ユージン・スミスさんをモデルにした映画の制作が、ハリウッド俳優のジョニー・デップさん主演で進められ関心が高まる中、スミスさんの評伝を著したノンフィクション作家の方や、「もやい直し」に取り組む熊本の被害者の方を講師にお招きして、下記講演会を開催します。

日程 2019年11月24日(日)13:30～16:00(受付13:00～)

同時講演
正直に生きる
講師・緒方正実氏
(水俣市立水俣病資料館館長)

水俣病写真・パネル展
11月17日(日)～12月1日(日)
展示 9:30～16:30(月曜休館)

会場 新潟県立環境と人間のふれあい館 新潟水俣病資料館

お問合せ 住所 新潟市北区前新田字新々園乙 364-7
TEL 025-387-1450 / FAX 025-387-1451
メール fureai@abeam.ocn.ne.jp
ホームページ URL http://www.fureaikan.net/

新潟県立大学告知イベント
2019年度国際地域研究学会
第10回研究大会

テーマ
「小さな声が紡ぎ出す世界」

熊本県水俣市にある一般財団法人水俣病センター相思社に勤務し、一昨年に「みな、やっとの思いで坂をのぼるー水俣病患者相談のいま」を出版した永野三智氏をお招きし、被害者の方々と対話でどのような言葉を耳にし、どのような「今」が浮き彫りとなったのかについてお話いただきます。併せて、新潟県立大学教授の堀江薫氏(学会員)による「地域に学ぶ法律学」の招聘発表も行います。

日程 2019年11月30日(土)14:00～16:30(開場13:30～)

会場 新潟県立大学1号館A棟1313講義室
(住所:新潟市東区海老ヶ瀬471) ※正門よりお入りください

主催 国際地域研究学会(新潟県立大学)

参加方法 定員に限りがあるため、下記担当まで事前連絡が必要
(担当:小澤薫 ☎025-270-1189 ✉ozawak@unii.ac.jp)

入場無料

第21回 新潟水俣環境賞作文コンクール

の作品を募集します!
募集 2019年10月1日～2020年3月30日
発表 2020年6月



新潟水俣病や新潟県内の自然について思ったこと、身の回り環境について考えたことや体験して感じたことなどを書いてください。皆さんの応募をおまちしています。

- 例えば、「新潟水俣病」「住んでいる地域の環境」「新潟の自然(森林・川・湖沼・海と環境問題)」「総合学習等で取り組んでいる環境問題」「水の安全、食の安全」について、体験したことや気づいたこと、考えたことを書いてください。
- 作文の応募はA4版400字詰め原稿用紙で、小学校1・2年生は600字～800字、小学校3・4年生は800字～1000字、小学校5・6年生は1000字～1200字、中学校1・2・3年生は1200字～1600字です。
- 優秀賞者には表彰状と図書カード1万円分を贈ります。佳作者には表彰状と図書カード3千円分を贈ります。
- 応募していただいた方全員に参加賞を贈呈します。

お問合せ先 ●新潟水俣病被害者の会 TEL025-281-2466 / FAX025-281-8101
(作文の送付先 ●〒950-0965 新潟市中央区新光町6-2 勤労福祉会館3階 新潟水俣病被害者の会)

「阿賀野川えとこだプロジェクト」とは?

正式には「阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業」(略称FM事業)と言い、阿賀野川流域の各地域が今も続く新潟水俣病と向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関係」をつむぎ直すため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い、「新しい地域づくり」を目指して始まったプロジェクトです。

阿賀野川えとこだ! 憲章(事業理念)

私たちは新潟水俣病に学び教訓を伝承することで、負の遺産から新たな価値を創造していくことを目指します。阿賀野川流域の宝物を広く内外に発信しながら、公害により失われた人と人、人と自然、人と社会の絆をつむぎ直していきます。地域を愛する人が地域の未来をつくる「流域自治」の確立へ向けて行動します。(阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業推進委員会)

編集後記

第29号はいかがでしたでしょうか? 今号はイベントなどのお知らせが満載で、毎号掲載している「阿賀の宝もん★発掘レポート」をお休みしましたが、次号からは再開します! 毎年度3月に開催している流域再生フォーラムでは、今回初めて事前オプショナルツアーを開催しますので、多数のご応募を心よりお待ちしております☆

2月発行予定の次号もご期待ください!

今号表紙の写真「紅葉の実川」

水量豊富な阿賀野川に流れ込む大小さまざまな支流。その中でも、最上流にブナの原生林が広がる支流・実川では、清らかで豊かな水が阿賀野川にもたらしています。写真は、紅葉で美しく彩られた実川の溪谷を撮影した一枚。

阿賀野川えとこだより 第29号
発行:新潟県(※環境省補助事業) 発行日:2019年11月2日
企画編集:一般社団法人あがのかがわ環境学舎(〒959-2221 阿賀野市保田 3866-1)
TEL.&FAX. 0250-68-5424
aganogawa@niigata.email.ne.jp

阿賀野川えとこだ!流域通信
https://aganogawa.info/

